

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（山梨県）

## 実施事業所

KEIPE株式会社(KEIPE笛吹オフィス)

## 導入した設備

食品乾燥機一式、アイスクリーム製造機器一式

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

- ・近年の物価高騰、企業を取り巻く経営環境の悪化による値下げ交渉・事業打ち切り交渉等により、事業収益による利用者賃金の確保は達成しているものの、満足のいく賃金向上を行えていない状況にある。
- ・事業所内の高齢化も進む中、定年後も安心して生活を送ることが可能な経営体制や環境づくりに苦慮している。
- ・こうした中、事業所で展開している事業(飲食事業、ECサイト、ふるさと納税等)において販路が確保できているという強みを活かし、食品加工機器等を新たに導入することで、これまでのような委託に頼らない食品加工事業を展開し、収益性を高めたい。

## 事業内容

KEIPE株式会社では、「誰もがそこにいい社会」の実現を目指し、障がいのある方が、より自分らしく働ける環境づくりに取り組んでいる。

これまで、製造業・物流業の受託事業、飲食事業、WEB事業、施設内作業等を行っており、このモデル事業を活用して、新たに①食品乾燥機、②アイスクリーム製造機を導入し、食品加工事業(ドライフルーツ、干し芋、ジェラート等)を展開する。

製造から販売までの一体的な運営体制を整備することで、障害特性に応じた雇用機会を創出するとともに、収益性を高めることで、賃金の向上等を図っていく。



## 生産設備導入後の効果

- 食品乾燥機の導入により、新しく干し芋の生産を開始し、1日あたり100kgの製造が可能となった。安定した品質のものが、効率的に生産できるため、迅速な出荷対応ができています。
- これまで委託製造で月30個程度の製造・販売が可能であったが、アイスクリーム製造機の導入により、ジェラートを1日に400食分の製造・販売が可能となった。店舗販売も実施し、地域内外の顧客から好評を得ている。
- 店舗やECサイトを活用した複数の販路展開が可能となり、収益性の高い販路を確保。山梨県最低賃金の約1~5%の賃金向上を見込んでいる。
- 生産から販売までの工程を事業所で対応できるため、障害特性に応じた作業の割り振りが可能となり、新たな雇用機会の創出に繋がっている。

